

<b>授業科目名</b> 東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅶ演習	<b>単位数</b> 2年間を通じて8単位
<b>担当教員名</b> 申 明 直（シン ミョンジク）	<b>開講期間</b> 通年
<b>講義概要</b> 「東アジア（韓国・朝鮮）言語文化特殊研究Ⅶ」で考察した近代初期の協同論と共生論に基づいて、東アジアにおける共生論の現在の意味を文化的な側面から研究する。特に①東アジア市民権 ②東アジア共生論と協同組合 ③公共圏と親密圏について注目しながら、競争と見えざる手に身を任せている新自由主義の代案を文学・文化にフォーカスを合わせて探してみる。	
<b>授業計画</b> <b>【春学期】</b> 「東アジア市民権」と「東アジア共生論と協同組合」に関する論文を読んで話し合う。特に、サバルタン概念に注目しながら関連テーマに対する小論文の発表を行う。 <b>【秋学期】</b> 「公共圏」と「親密圏」に分けて、東アジア市民としての共生の方法を考察する。特に文学・映像作品と文化現象にフォーカスを合わせて関連論文について話し合う。関連テーマに対する小論文の発表も行う。	
<b>テキスト</b> ①강옥초, 「그람시와 서발턴개념」, 『역사교육』 제 82 집, 역사교육연구회, 2002 ②김택현, 「다시 서발턴은 누구/무엇인가?」, 『역사학보』 제 200 권, 역사학회, 2008 ③김택현, 『서발턴과 역사학 비판』, 박종철 출판사, 2003 ④藤本一勇 外, 『現代思想入門 グローバル時代の「思想地図」はこうなっている!』, PHP 研究所, 2007 ⑤라나ジット・グハ/ギャーネンドラ・パーンデー/パルタ・チャタジー/ガヤトリ・スピヴァック, 『サバルタンの歴史—インド史の脱構築』, 岩波書店, 1998 ⑥이철우, 「주권의 탈영토와 재영토화-이중국적의 논리」, 『한국사회학』 제 42 집 1 호 ⑦라셀 살라자르 파레냐스, 『세계화의 하인들』(문현아 역), 여성문화이론연구소, 2009 ⑧ムハマド・ユヌス, 『貧困のない世界を創る』, 早川書房, 2008 ⑨斎藤純一, 『親密圏のポリティクス』, ナカニシヤ出版, 2003 ⑩齋藤 純一, 『公共性』, 岩波書店, 2000 ⑪落合 恵美子 外 編, 『アジア女性と親密性の労働：変容する親密圏/公共圏(2)』, 京都大学学術出版会, 2012	
<b>参考文献</b> テキスト以外の東アジアの共生とトランスナショナルに係わる韓国文学・映画作品。授業の中で紹介する。	
<b>成績評価</b> レポート、発表などによる総合的評価	

